

ルネサスのリストラを許さない 共同闘争ニュース

2012年8月28日 第2号
電機・情報ユニオン本部
〒108-0073 東京都港区三田3-2-20
Tel 03-3455-6006 Fax 03-3451-3595

全労連本部「雇用と地域経済を守れ」のビラ

全労連本部は8月に「ルネサスは雇用と地域経済を守れ」と題する全国ビラを作成し、関係する県労連などに版下を届け、ルネサス事業所への宣伝行動を取り組んでいます。

ルネサスの各事業所へ宣伝行動

電機・情報ユニオンは当該のルネサス懇、電機懇と各団体の協力を得て、7月18日（水）の武蔵事業所（東京・小平市）への宣伝行動をスタートにして、7月31日（火）に那珂事業所（茨城・ひたちなか市）、8月6日（月）に高崎工場（群馬県高崎市）左写真を参照、8月20日（月）に玉川事業所（神奈川県川崎市）、8月22日（水）に相模原事業所（神奈川県相模原市）、8月28日（火）にルネサスマイクロ



群馬県労会議真砂議長の訴え

システム本社（横浜市）への宣伝行動を取り組んでいます。

システム本社（横浜市）への宣伝行動を取り組んでいます。

全労連ビラの宣伝行動

愛労連は「全労連」作成のビラ版下が届いたのを受けて、愛知電機懇と共に中部ACEソリューションセンターへの宣伝行動を計画しています。

ルネサスの生産工場に関する県労連からの取り組み状況などをお寄せ頂けたら幸いです。

Eメール; denkikon@jcom.home.ne.jp

ルネサス懇HPを拡充へ

この5月からルネサス懇への訪問者が急増（2面参照）しています。

「リストラ対策のページ」を追加、リストラ対策のページに「ルネサス実行委員会の紹介」を追加、「入会案内」のページを追加、「情宣活動」のコーナーにビラWeb限定版第7号をアップロード、「懇」の部屋に「ルネサス懇、抜本的構造対策を語り合う」を掲載しています。

明かになった「生産工場の動向」（存続・縮小・譲渡・閉鎖の対象）

No	工場名	前工程／後工程	8月6日の臨時合同労使協議で示された計画内容
1	函館	後工程	今後1年を目処に譲渡を検討。
2	青森	後工程	今後1年程度を目処に譲渡を検討。
3	鶴岡	前工程	12インチは1年程度を目処に譲渡を検討。5インチは3年程度を目処に譲渡または集約を検討。
4	米沢	後工程	中核事業として集中・強化。
5	那珂	前工程	12インチ、8インチとも中核事業として集中・強化。
6	高崎	前工程	6インチは特殊加工製品の自社生産を継続。5インチは2013/下期に集約。
7	甲府	前工程	8インチは中核事業として集中・強化。6インチは2014/下期に集約。
8	福井	後工程	今後1年程度を目処に譲渡を検討。
9	滋賀	前工程	8インチは中核事業として集中・強化。6インチは特殊加工製品の自社生産を継続。
10	柳井	後工程	今後3年を目処に集約を検討。
11	山口	前工程	6インチは1年程度を目処に譲渡を検討。
12	山口	後工程	2013/下期に集約。
13	西条	前工程	8インチを中核事業として集中・強化。
14	高知	前工程	6インチの生産を縮小して運営を継続。
15	熊本川尻	前工程	8インチを中核事業として集中・強化。
16	熊本錦	後工程	今後3年程度を目処に譲渡または集約を検討。
17	熊本大津	後工程	今後1年を目処に譲渡を検討。
18	大分	後工程	中核事業として集中・強化。

地域経済をまもるといふ社会的責任を果たせ

山口労連の取り組み

7月26日、山口県労連会館でルネサスリストラ「合理化」対策実行委員会がおこなわれました。実行委員会には、県労連・地域労連役員や共産党県議・市議など18名が参加しました。

実行委員会の取り組みとして8月10日、山口県、宇部・柳井市への要請を行いました。

さらに、激励ビラとアンケートは、8月3日の柳井工場に配布し、山口工場には8月9日に交替勤務者向けに、10日に日勤者向けに取り組み、会社側の監視・妨害にも関わらず、車から降りて受け取りに人もおられ、ほぼ全員の方々と約500枚を手渡すことが出来ました。

今後、寄せられたアンケートに寄せられた要望や意見を生かしていくことにされています。

熊本労連の取り組み

熊本労連は、錦工場閉鎖を始めとしたルネサスの合理化策「強靱な収益構造の構築」についてを情勢分析を行い、行動を具体化されています。

今までの取り組みは、7月26日に熊本県への要請と懇談、8月2日にルネサスへの撤退計画中止の要請、8月6日に錦工場労働者への激励行動、8月6日に関係する人吉市と錦町との懇談、8月10日熊本労働局への要請と懇談を行ってきました。

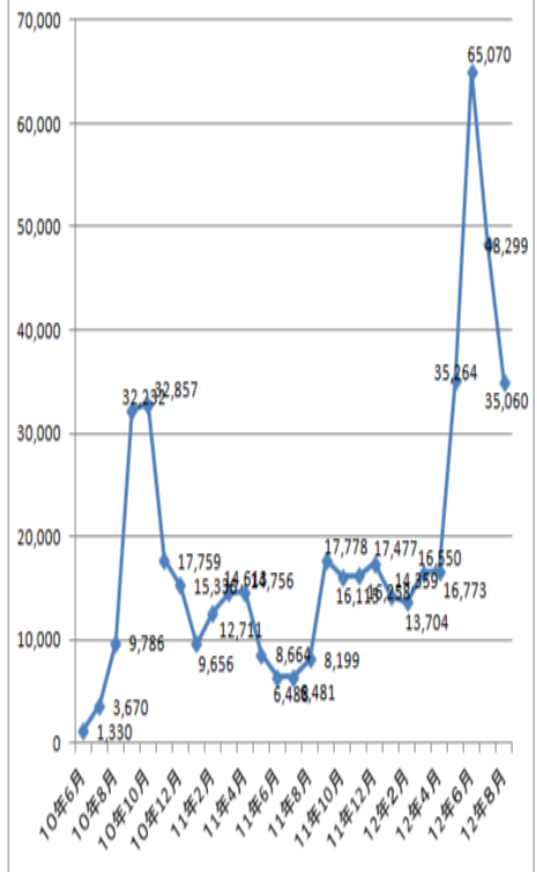
今後、ルネサス労組との懇談、全労連に設定をお願いしている「ルネサス本社・政府への要請行動」などを計画されています。

さらに、7月27日に地裁で結審となり11月9日判決を迎えるNECセミコン重層偽装請負裁判での勝利をめざして取り組みを強めています。

職場から寄せられた声

- (1) (HPに8月23日投稿)ルネサス山口工場で働く者です。ホームページを見て元気になりました。ありがとうございます。
- (2) (HPに8月23日投稿)山口工場で働く者です。希望退職の面接が始まりました。社員の格付けが事前に作成しており、やめて頂くリストと残って頂くリストがあり、やめて頂きたいリストの人には『君は残って何ができるか?』と残ることをあきらめさせる様に、課長・部長が面接で追及をしている。やめて頂く基準はあくまで好き嫌いで明確な根拠がなく、山口宇部の早期退職のノルマは450名です。後工程組立260名、前工程拡散1000名弱ですが、来年閉鎖が決まった組立は、ほとんどやめる予定(特に3年間の給料もらえる人)ですが、会社はやめる人数をコントロールしている。指名リストラなら、希望を聞くなどと思う。拡散は、売却先の都合で半分の人員でよいので、今回残っても自動車関連の下請けに、飛ばして人数を調整する予定。特に、環境の悪い、作業に配属してやめさせる方向で嫌がらせをする予定。すでに他工場の人はアイシン精機で過酷な環境の中で作業していると聞いた。熊本の川尻本社から来た人が管理職の半数を占めて山口工場の解体をしている。彼らは、熊本に帰れば良いので好き勝手にしていて、大変遺憾だ。勤務中に油を売る程余裕の管理職は、減額したらと思う。山口工場では、昔も自殺が出ましたが、今回は出ない様にメンタルを進めて頂きたいと思う。

アクセス数



編集後記

9月18日から26日を募集期間とする早期退職優遇制度も正式に決まり、夏季連休明けから個人面談が本格的に始まっています。この面談で「他に選択肢が無いかのように」思わせる等、退職強要にあたる行為

があるかも知れず、ルネサス懇としても今後の相談活動に力を入れていく事を確認しています。何よりも「キッパリと早期退職には応じません」と言い切れる環境を作り上げる宣伝活動が大変に重要になっていると思います。(事務局；谷口)